



宝生 詩音（ほうしょう しおん）

職業：公立 音海（おとうみ）学園 2年生

血統：6-7世代くらい前の祖母がサキュバス。

現在は非常に血が薄くなっており、

家系全員がサキュバスあるいは

インキュバスの血に目覚めるわけではない。

三姉妹の末っ子だが、

長姉は今でも血が目覚めず普通の人間で、

次女は詩音よりも7年以上早い段階で目覚めたという極端な差がある。

しかしあまり当事者意識はなく

『自分も長姉のように、一生ふつうの人間だろう』
と思っていた。

年の近いところにいるが、彼女も次女と同じく早くに目覚めたサキュバスである。

誕生日：11月22日

身長：161センチ

血液型：O型ベース・サキュバス型

胸：Fカップ

顔立ち：釣り目でダウナーな雰囲気

クール系美少女。ただし、性格はあの通りまるでクール系でなく、人柄を知られるほど

『頼りなくてかわいい系』なのがバレる

素の顔がちょっと眠そうだが、ちゃんと起きている

体型：平均的な身長で、体型は細め。食べるのが大好きなので、その分体型に気を遣っている

ファッション：ちょっと派手めな今時JK.

他人にはよくわからない、自分なりの

強いこだわりがあるタイプ

一人称：私、あたし

あなたを呼ぶときは：いいんちょ、いーんちょ、君。

一人称も二人称も気分で変わって

揺れがあるタイプ

学力：まあまあ、そこそこ程度

（あなたに恋愛対象外にされない程度には頑張る）

好きな食べ物：ラーメン、みかん

香水：こだわりの逸品

人物：

あなたの事が好きで好きで好きで好きで

たまらない、初恋こじらせ系ハーフサキュバス。

クールでけだるげ、

ミステリアスな雰囲気的美少女で、

何事もそつなくこなし、一見無気力そうに見えます。

……が、実はとっても情熱的で愛情深く、まめ。

一度受けた恩は忘れないタイプで、良くしてくれた

相手には礼を尽くし、

少しずつ距離を縮めつつ、素直に懐くタイプです。
また、好きになった相手にはとことん尽くします。

そしてそのうち、実は全くクールではなく、
結構抜けていて頼りなく、なんでも必死に頑張る
タイプだという事を知られて仲良くなります。

容姿は「今時の若者」という印象ですが、
お父さんと上のお姉さんに
しっかりしつけられているため
（お母さんと下のお姉さんはゆるゆる系）、
とてもお行儀がよく、
箸の持ち方や姿勢がとても綺麗です。
上下関係はしっかり守り、律儀です。

お年寄りや妊婦さん、小さな子ども連れの人を
それとなく助けるのがうまかったり、
近所の人には挨拶を欠かさなかったりする事から
目上の人から『見た目はちょっととっつきにくい
けど、とてもいい子』
『というか、割と心配になるタイプだから

見守っていていよう……』
と可愛がられる事が多いようです。

あなたとは、ひとつ前の学校の時以外は
ずっと同じ学校の同級生で、
園の頃、お泊まり会の夜に自分だけ眠れず
泣いていたところ、一人だけ気づいたあなたが
自分の布団に入れてくれ、
一緒に寝てくれた時からあなたの事が大好きです。

また、あなたに優しく包み込まれる
あの幸福感が忘れられないまま今日に至ります。

しかし、当時はこれが恋愛感情だという事は
理解できず、何年も普通の友達として
接していました。

また、あなたに憧れを抱きつつも
あなたが誰にでも優しい女の子である事は
重々承知しており
自分だけが特別ではない事もわかっていました。

その後、別々の学校に進学したのを機に
あなたの事はあきらめたつもりでいましたが、
音海学園に進学して再会してからは、
再び想いを募らせるようになっていました。

しかし、クラスが違う事で思うような
接触がかなわず、
「また話したい」と思いつつも、
機会がないし勇気を出せない……。
という、悶々とした日々を送っていました。

そんなある日、これまで完全に眠っていたはずの
サキュバスの血が目覚め、
性衝動に悩まされるように。

だけど、あなた以外の人となんて
結ばれたくない……！

と思い詰めた結果、とうとうあなたに連絡します。

数年離れている時期があったせいか、
あなたの事を神聖視し

『あなたはピュアで優しい女性であるに違いない』

『正体は聖女あるいは女神あるいは天使』

と考えているという、
妙な幻想を抱いています。

そのため、初めて「性衝動を和らげるために
自分とセックスしてほしい」とお願いし、
応じてもらった時は

「あなたは性的な事に興味があるのではなくて、
優しいから困っている私を助けてくれただけ」
と考えていました。

しかし、すぐに実はあなたがものすごく
性的な事に興味があり、
さらにドMの資質を兼ね備えていると
知ってからは

「思ってたあなたと違う……！
でも好きだし独占したいしえっちしたい！」

「だけど何だか裏切られた気分でむかむかする。
お望み通り性的に思いっきりいじめて発散したい」
と、更に想いをこじらせていきます。

それから

「えっち面だけでいいから
自分を好きになってほしい。必要としてほしい。
あなたの欲望を受け止められるのは私だけで、
他の子では無理だと思い知ってほしい」
と思っているようです。

前述のとおり、両親と姉が二人という
女性ばかりの家庭で育っており、
かなり可愛がられて育ちました。

さらに、血がまったく目覚めず普通に生きている
堅物の姉と
早期にサキュバス化した性に超奔放な姉という
血の目覚め方も恋愛観も真逆な姉たちを見て、

『やっぱり自分は好きな人とだけがいい、

今、っていうか、一生あなたの事以外は
考えられない』

と、ますます想いを強めている様子。

とにかく今は恋に夢中。

全エネルギーをあなたに注ぎ込みたいようです。